

The Architecture of Dreams: Elements of Ancient Chinese Architectural Models

夢見る建築

企画展

中国古代の明器に宿る建築の断片

《五彩楼閣山水図盤(部分)》
中国 漳州窯 明時代(17世紀)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター
(愛知県陶磁美術館管理)

2026
10.10^{sat} → 12.20^{sun}

会場／愛知県陶磁美術館

本館 展示室1-A、地下展示室

主催／愛知県陶磁美術館

後援／愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)

開館時間／午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

休館日／毎週月曜日
(※10月12日[月・祝]・11月23日[月・祝]は開館)
(※10月13日[火]・11月24日[火]は休館)

観覧料／一般1,000円(800円)、大学生800円(640円)
高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

X @toubijibjutsukan Instagram @touji.bijutsukan

古代の祈りと
現代の共鳴

《緑釉水樹》
中国 後漢時代(1～2世紀) 茂木計一郎氏寄贈

夢見る建築

中国古代の明器に宿る建築の断片

本展は、古代中国の「^{けんちくめい き}建築明器」を中心に、やきもので作られた建築部材、やきものに描かれた建築、建築装飾をイメージさせる現代陶芸など、さまざまな作品を紹介する企画展です。

「建築明器って何？」

古代中国で死後の世界でも豊かな生活を送れるようお墓に納められた、家や家具・設備などの陶製模型を「建築明器」と呼びます。豪華な楼閣からトイレ付き豚小屋、カマドや井戸など当時の生活感や建築技術を知ることができます。

「やきものが語る、2つの「夢」の世界」

「建築明器」にみられる現実の建物を通じた、古代の人々が死後の世界や来世へ託した「祈りの夢」。そして、やきものに描かれた非現実的な建築や、建築がイメージされる現代陶芸などの「空想の夢」。2つの異なる「夢」をキーワードに、時代も目的も違う作品たちを見比べながら、作品が持つ「建築」の魅力と「装飾」に込められた秘密を明らかにします。



《灰陶家屋》中国 後漢時代（1～2世紀）
茂木計一郎氏寄贈



《膳》伊藤慶二 平成28（2016）年 作者寄贈



《五彩供物》中国 明時代（16～17世紀）
茂木計一郎氏寄贈



《緑釉樓閣》中国 後漢時代（1～2世紀）
茂木計一郎氏寄贈



《寓舎「12-2」》林康夫 平成24（2012）年
作者寄贈



《五彩樓閣山水図盤》中国 漳州窯 明時代（17世紀）
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター
（愛知県陶磁美術館管理）



関連イベント

◎^{うつつ}現実のオープンアーキテクチャー
谷口吉郎建築の愛知県陶磁美術館本館を
展覧会作品No.0として、普段は立ち入れない
望楼や中庭などを含めて解説付きでまわる
イベントです。

日時：10月31日（土）
午前10時～（1時間30分程度）
講師：村瀬良太氏（建築史家）
定員：20名
（要オンライン事前申込・要観覧券）

◎夢の古代建築＆
スペシャルギャラリートーク
中国建築明器を「建築」と「中国古代文化」
のそれぞれの視点からクロストーク。異なる
視点で徹底分析します。

日時：10月31日（土）
午後1時30分～（1時間30分程度）
会場：本館地下講堂～地下展示室
講師：村瀬良太氏（建築史家）
田畑潤（担当学芸員）
（事前申込不要・要観覧券）

◎^{まきま}薪窯で焼く！「夢見て建築」
～理想の建物を作ってやきもの街をつくる～
常滑や瀬戸の土を使い、薪窯で理想の建物を作り
ます。完成品は本館ロビーに展示し、やきもの
の街を作り上げます。

日時：①制作 10月4日（日）
午前10時30分～午後3時30分
（昼休憩あり）
②展示期間 12月1日（火）～12月6日（日）
会場：①つくるこ！陶芸館、②本館ロビー
定員：50名（要オンライン事前申込・要参加費）

◎学芸員による
ギャラリートーク
日時：10月24日（土）
11月14日（土）
12月12日（土）
各回午後1時30分～
（1時間程度）
（事前申込不要・要観覧券）

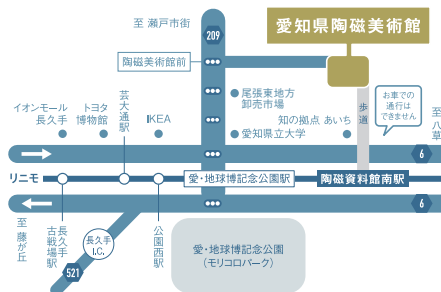
●申込み方法や詳細は公式サイトをご確認ください。

次回展覧会のお知らせ

特別展「20世紀北欧デザインの巨匠 スティグ・リンドベリ展」
2027年1月16日（土）～3月14日（日）

愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番
TEL.0561-84-7474 FAX.0561-84-4932
<https://aitou.museum/>



●公共交通機関
リニモ「陶磁資料館南」駅下車、
徒歩600m（リニモへは地下鉄東
山線「藤が丘」駅又は愛知環状鉄道
「八草」駅で乗り換え）
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、
「瀬戸駅前」のりば1から名鉄
バス「菱野団地」経由「愛・地球
博記念公園」行き「陶磁美術館」
下車（土・日・祝日のみ）
●自家用車
駐車場無料・250台、
大型バス9台収容